

ねりま小中一貫教育レポート

○●○ 第 22 号 ○●○

平成 26 年 2 月

発行：教育企画課・教育指導課

「ねりま小中一貫教育レポート」は、小中一貫教育の取組を全小・中学校で共有するため、随時発行しています。第 22 号では、平成 26 年 1 月 24 日に実施した、平成 25 年度小中一貫教育研究グループ・実践校発表会および講師の聖徳大学教授廣嶋憲一郎先生の指導講評についてご紹介します。

◆25・26 年度 小中一貫教育研究グループの中間発表

- 豊玉中グループ・・・国語で「説明文を読み取るための段階的指導」、社会で「持続可能な開発のための教育（E S D）」をテーマとしてカリキュラムを研究
- 中村中グループ・・・体育や道徳のカリキュラム研究のほか、学習規律のスタンダードや生活指導マニュアル（仮称）について検討
- 開進第二中グループ・・・3 校合同の人権学習フィールドワークを実施したり、3 校共通の家庭学習状況調査を行って、「全く勉強しない」と回答した生徒が増える中学 2 年生に「毎プリ」という宿題を出したりなどの取組
- 田柄中グループ・・・算数・数学と理科で授業研究を進めながら、今後は特別活動部会を新設して学級活動のあり方を小中で研究していく計画
- 南が丘中グループ・・・国語、体育・保健体育、図工・美術で小中教員が指導案づくりから連携して研究授業を実施。算数・数学と理科では課題改善カリキュラムを作成し、来年度はカリキュラムの実践・検証を行う
- 大泉中グループ・・・算数・数学分科会で単元計画の作成、理科分科会でワークシート開発、保健体育分科会で新体力テストの結果分析や乗り入れ授業、特別支援学級分科会で行事活動を通じた交流などを実施

◆小中一貫教育実践校の報告

10 組ある実践校のなかで、2 組の実践校が発表を行いました。

- 豊浜中グループ・・・指導案のなかに「先を見越した教材内容」に触れたり、小学校 1 年から中学校 3 年までの教材内容をすべて載せたりするなどして、小中一貫教育を日常の授業のなかに取り入れる工夫
- 光が丘第三中グループ・・・学校応援団や地域団体と一緒にあいさつ運動を行うなどして、地域との連携に努めている。学習指導連携を行う教科を 2 教科から 4 教科に拡大し、小グループ活動など学習形態を意識した小中一貫教育を実践中

◆聖徳大学教授 廣嶋憲一郎先生の指導講評

小中の教師間の交流では、小中の違いや、違いから生じるギャップを理解することに着目しましょう。小中の違いから生ずる課題を発見した場合には、課題改善カリキュラムにつながります。



リトルティーチャーや部活動体験、あいさつ運動など、小学生と中学生の交流活動には子供たちが真剣になれるものがたくさんあります。中学生が熱唱している合唱コンクールを見て、何かを感じない小学生はいないでしょう。実際に関わってみてわかる感動があります。

小中の授業交流には、中学校の体験授業や出前授業および乗り入れ授業があります。乗り入れ授業では、小学校の授業に中学校の教師が支援に入る方法、中学校の授業に小学校の教師が支援に入る方法、小学生と中学生の合同授業の3通りあります。もちろん、カリキュラムに位置付けてやらなければなりません。

課題改善カリキュラムは練馬区オリジナルで、2つのパターンがあります。

第一のパターンは、教科等の一貫性です。教科等の一貫性のなかには、数学や理科など教科内容を一貫させる場合と、人権や食育など教育課題の一貫性を追究する場合があります。教科内容を一貫させる場合、教科の領域を絞るとやりやすいでしょう。

第二のパターンは、思考力・判断力・表現力を高める授業の工夫やノート指導など、指導方法の一貫性です。これはお勧めのパターンです。

小中一貫教育には、さまざまなやり方があり、どのスタイルがよくてどれがダメということはありません。継続的にアンケートを実施したり、サンプルで子供を追って質的な変化をみたりして、データを重ねて成果を検証しながら進めることが大事です。やってみて手ごたえがあれば、やりがいにつながります。

◆参加者アンケートから

- どの学校でも工夫していると思ったが、本校区ではどのような取組が有効なのか今後考えていかなければならないと思った。
- 新たな取組を知ることができ、自校に活かしたい。特に「あいさつ運動ハイタッチ」「家庭学習のすすめ」などの取組は参考にしたい。
- 研究が進んで、経年変化のデータが蓄積されてくるので、項目を検討していく必要があると感じた。
- 全体発表もよいが、次の研究の人たちへのざっくばらんな話ができるのは、グループでの話ではないか。話を一方的に聞く研修会ではなく、参加型がよいと思う。
- 他のグループの実践日がわかって時間さえ合えば、どんどん他のグループの学校の先生でも参加できるような形をとってもらえるとよい。

☆参加者アンケートでいただいたご意見を受けて、C4th 上に「小中一貫教育お知らせ掲示板」を設置しました。ご活用ください。